

第2回地域福祉推進協議会（7月27日開催）でいただいた意見

小山委員

親しみやすい表現にするという観点から、「我が事」「丸ごと」というときの「我が事」の「事」の字をひらがなにしてはどうか。

井出委員

「我が事」・「丸ごと」の地域づくりと協働の推進は、項目としてはいいと思うが、中身の説明について、3点目の「支え合い認め合う地域社会の実現」の内容はかなり重なっている部分もある。文言の整理をしつつ、「我が事」「丸ごと」の文言については、項目にだけ残して、中身の説明については、文京区らしい文章で説明をするようにしてはどうか。

諸留委員

公務員は全体の奉仕者だが、町会・自治会は任意団体であるため、【資料第8号】の1頁の項目に同列で書かれる事に違和感を感じる。また、「我が事」という言葉はわかりにくく、「他人事ではなく」と言った方がわかりやすいのではないか。実際に地域のことを他人事のように感じている人は多いのではないか。また、変更の2点目で「喜びと責任を分かち合いつつ」とあるが、喜びと責任を対にして使うことも違和感を感じる。

黒澤委員

「文京区らしさ」を残すということでは、タイトルを文京区という言葉で表現し、説明文に「我が事」「丸ごと」を受けた内容だという事で、その文言を使ってはどうか。どちらにしても、この場ですぐ文章案のようなものは思いつかないので、次の協議会までに意見を事務局に伝えるという形にしてはどうか。男女平等社会の文言については、区の新計画に基づき、国の法律にも基づいた文言であるため、大幅な変更はしない方がいいのではないか。

高山副会長

基本理念の中に「多様性の尊重」「ダイバーシティ」ということを打ち出してはどうか。

小倉委員

「性別にかかわらず」という表現があるが、男女区別なくという意味だけでなく、男性と女性で違うところは尊重するという趣旨も入っていると考えるので、そういう意味では現行計画の「男女が互いの人権や個性を尊重し」という表現の方がしっくり来るのではないか。

川又委員

「文京区版」ということを考えるのであれば、大学生の参加というのはやはり重要なことであるが、これは次期計画でも落とさず残していくということでもいいか確認したい。

第2回地域福祉推進協議会終了後にいただいた意見

黒澤委員

下記のとおり、基本理念と基本目標の変更を提案する。

基本理念

3 認め合う地域社会の実現

ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョンやダイバーシティ（多様性）の理念のもと、だれもが、主体的に社会参加でき、相互に人格と個性を尊重し、社会的に排除されることのない、認め合う地域社会の実現を目指します。

5 「みんな大切な家族」の地域づくりと協働の推進

だれもが、地域の課題と把握し、解決するための活動に「我が事」として主体的に参画・協働し、分野を超えて「丸ごと」つながる地域づくりを推進します。

6 男女平等参画の推進

一人ひとりが互いに人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮していきいきと暮らせる地域社会を目指します。

基本目標

3 地域、暮らし、生きがいをともに創り、互いに高め合うことのできる、みんながつながる全員参加の地域社会を目指します。

千代委員

基本目標の3点目に「役割を持って」とあるが、役割を持ちたくても難しい方々がいると思うが、どのように考えるか。